

緑のラブレターと山の目でお馴染み！

一本松山～名倉金剛山～秋川橋

実施日 2024年2月18日(日)

天候 曇り／一時晴れ

リーダー 渋谷 京子

参加者 若村貴世子、若村勝昭、福島政幸、山崎富美恵、渋谷京子、遠井謙策、伊藤久雄、徳山敬子、瀧澤きよの、峯川弘子、宮崎敏男 計11名

費用 484円(高尾起算)

タイム 藤野駅(9:15)分岐(9:40)休(9:50~9:55)一本松山(10:10~10:15)葛原神社(10:45~11:00)名倉金剛山(11:30~11:35)見晴し台(11:55~12:25)天神峠(12:40)高倉山(13:00~13:05)天神峠(13:20)桂林寺(13:40~13:45)芸術の道(14:15~14:20)秋川橋～藤野駅(14:50)

朝ベランダに出ると小雨が！昨日まで晴れマークだったのに、天気予報は回復との事、電車に揺られていると曇り空からうっすら青空も垣間見え安心した。

藤野駅に藤野・なぐら地区てくてくマップが置かれている。芸術の道、一般コース、健脚コースとあり、金剛山の登りから高倉山まで健脚コースになっている。

メンバー11名は駅から右へ弁天橋を渡り登山口へ、一本松山の標識を確認して山へ分け入った。

いきなりの急登が続き息があがり汗も吹き出した。水分補給して小休憩。

マップには数字が入っており地図上の数字を追いなが



ら一本松山を目指す。樹林帯を登って行くと一帯開けた処に一本松山の標識はあったがどう見ても松の木に見えない。

皆で回りを見渡しても見当たらないので謎を残したまま後にした。数字に導かれ行くと急に舗装路に飛び出した。ゲームをしているような感覚のひとつときであった。

葛原(とずらはら)里山の風景は



ふるさとを思い出すような懐かしさを覚えた。里には紅梅、

白梅があちらこちらに見られかぐわしい香りが鼻をくすぐる。葛原神社の裏手には屋根付きの休憩





所とトイレがあり休ませてもらおう。広々としていて遠くの山々も望めて最高の時を過ごせた。ここから金剛山に向け里山をあとにした。

金剛山への道は健脚コースである。徐々に険しさを増し時々休みながら尾根を目指す。



漸く分岐に、左の尾根道に取り付き進むと金剛山の頂きに！集合写真に収まった。

アップダウンをこなして下って行くと見晴し台、ベンチでお昼ごはんとなった。



至福の時はあっと言う間、天神峠を目指し見晴し台を後にする。

いきなりの下り坂で緊張を強いる。落ち葉の下に岩、石が隠れていて道も狭く滑りやすい。怪我は禁物、ゆっくりと慎重に下っていく。漸く天神峠に到着、高倉山は

山の目が見られるとか？

やはり登りはきつい、少し下って行くと斜め下に山の目らしき物体



が！高倉山からは当然見られず、数時間前に葛原から山の目を遠目に見られたので、まあいっか（笑）

高倉山から葛原への近道で天神峠方面へ下ると芸術の道へ続く舗装路が見えて来た。

立派な桂林寺、まだまだ舗装路は続く。秋川橋をあがって行くと漸くバス道路が見えた。

日蓮大橋を過ぎ車の往来が激しい



道路を行くと藤野駅に到着した。お疲れ様でした。

季節はずれの暖かな登山びよりのなか多くの方にご参加頂き有り難うございました。

山行中二人の登山者しか会わず静かな山歩きになりました。我々は賑やかでしたが！

こぶし会のメンバーの健脚ぶりが発揮出来ましたね！又ご一緒しましょう。

(記&写真・渋谷 京子)

(写真提供・伊藤久雄)